

13. 表彰

各優勝選手には持ち回りの優勝カップを渡し、賞状と副賞としてレプリカと賞品等を進呈する。
 京都北部代表の池口常任理事(福知山テニス協会会長)より、後援である京都府テニス協会に対して、
 各種目ごとの入賞メダルの提供を毎年担当市が変わっても徹底して行なって戴く。
 尚、レプリカと賞品は、開催市が変わってもほぼ同じ以下のグレードの品物(出来ればスポーツグッズ)
 で統一しておくこと。ドロー数により各入賞選手には、最低限次の表彰規定を提案する。

- (1) 8ドロー未満の場合は、優勝選手のみ賞状とレプリカ(メダル)と副賞(1,500円程度)を進呈する。
 - (2) 8～31ドローの場合は、優勝、準優勝選手に賞状とレプリカ(メダル)と副賞(3,000円と1,500円程度)を進呈する。
 - (3) 32ドロー以上の場合は、優勝、準優勝、第3位の選手に賞状とレプリカ(メダル)と副賞(5,000円と3,000円と1,500円)を進呈する。
- ※上記(1)～(3)は、シングルスの場合を示し、ダブルスは、(1名単位にすると)半額とする。

14. シード数とシード選手

(1) エントリー数におけるシード数は、下表を参考にシード数を設定する。(日本テニス協会規定を参照)

ドロー数	出場選手人数	シード数
8ドロー未満	7人以下	1シード
8ドロー	8～11人	2シード
16ドロー	12～23人	4シード
32ドロー	24～47人	8シード
48ドロー以上	48人以上	16シード

(2) シード選手は、前年度の本大会の結果を参考に、次のように決定する。

- ① シングルスで16シードまでを決定する場合。
 - (ア) 第1シードは、前年度の優勝選手を選び、エントリーしていない場合は、準優勝選手となり、その選手もエントリーしていない場合はベスト4から抽選する。
 - (イ) 第2シードは、前年度の準優勝選手を選び、エントリーしていない場合は、ベスト4から抽選する。
 - (ウ) 第3、4シードは、前年度のベスト4の選手から抽選して選び、エントリーしていない場合は、ベスト8から抽選する。
 - (エ) 第5～8シードは、前年度のベスト8の選手から抽選して選び、エントリーしていない場合は、ベスト16から抽選する。
 - (オ) 第8～16シードは、前年度のベスト16の選手から抽選して選び、エントリーしていない場合は、大会レフェリー及び役員が推薦する選手(過去の本大会の成績を加味してシードに値する選手等)を選び抽選する。前年度のベスト32の選手からシードとして無理に選ばないこと。
- ② ダブルスで16シードまでを決定する場合。
 - (ア) 第1シードは、前年度の優勝ペアを選び、同じペアでエントリーしていない場合は、優勝選手のどちらかが他の選手と組んで出場している場合、そのペアを選ぶ。
 - (イ) 第2シードは、前年度の準優勝ペアを選び、同じペアでエントリーしていない場合は、準優勝選手のどちらかが他の選手と組んで出場している場合、そのペアを選ぶ。
 - (ウ) 第3、4シードは、前年度のベスト4のペアから抽選して選び、同じペアでエントリーしていない場合は、どちらかが他の選手と組んで出場している場合、そのペアから抽選する。
 - (エ) 第5～8シードは、前年度のベスト8のペアから抽選して選び、同じペアでエントリーしていない場合は、どちらかが他の選手と組んで出場している場合、そのペアから抽選する。
 - (オ) 第8～16シードは、前年度のベスト16のペアから抽選して選び、同じペアでエントリーしていない場合は、どちらかが他の選手と組んで出場している場合、そのペアから抽選する。
 - (カ) 前年度の第8～16シードのペアの選手及びどちらかの選手がエントリーしていなく、シード枠にペアが足りない場合は、大会レフェリー及び役員が推薦する選手(過去の本大会の成績を加味してシードに値する選手等)を選び抽選する。前年度のベスト32の選手からシードとして無理に選ばないこと。
- ③ ダブルスのシードペアのランキングについて
 - (ア) 第1ランク：前年度の優勝ペア
 - (イ) 第2ランク：前年度の優勝選手と準優勝選手のペア
 - (ウ) 第3ランク：前年度の優勝選手と第3位の選手のペア
 - (エ) 第4ランク：前年度の優勝選手とベスト8の選手のペア
 - (オ) 第5ランク：前年度の準優勝同士のペア
 - (カ) 第6ランク：前年度の準優勝選手と第3位の選手のペア
 - (キ) 第7ランク：前年度の準優勝選手とベスト8の選手のペア
 - (ク) 第8ランク：前年度の第3位同士のペア
 - (ケ) 第9ランク：前年度の第3位の選手とベスト8の選手のペア
 - (コ) 第10ランク：前年度のベスト8同士のペア
- ④ シード選手と対戦する選手とのドロー作成規定
 特に第1シードとシードで無い選手と対戦する場合は、以下のようにいきなり第1シード選手と無シード選手が対戦しないように考慮する。



15. ドロー作成における抽選時の配慮

初戦の相手は、同じクラブの所属選手とは対戦しないように配慮してドローを作成する。
 また、できるだけ同じ山に同じクラブが沢山かたまったり、かたよらないように配慮をする。